

東北運輸局の取組について

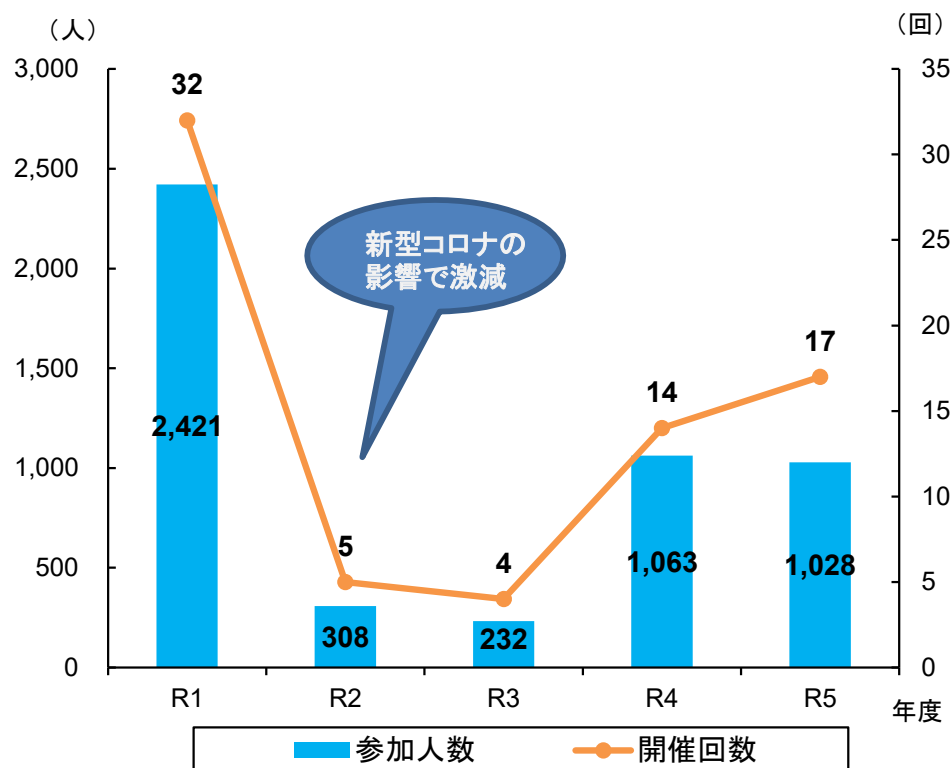
バリアフリー教室

高齢者、障害者等が安心して日常生活や社会生活が出来るようにするためには、施設整備（ハード面）だけではなく、高齢者、障害者等の困難を「**自らの問題**」として認識し、心のバリアを取り除き、その社会参加に積極的に協力する「心のバリアフリー」が重要です。

このため、管内各地において「**バリアフリー教室**」を開催し、疑似体験、介助体験、バリアフリー化された施設の体験等をしていただく場を提供しています。

また、地域が行っている、学校、地方公共団体、NPO、ボランティア団体、障害者団体、福祉施設など多様な主体が、お互いに連携しながら同様の取り組みや活動に対して、情報提供等の支援を行っています。

過去5年間の開催実績



バリアフリー教室の様子



バリアフリー教室の開催状況

高齢者疑似体験 等

【開催概要】

実施日：令和5年4月
 場 所：仙台医療福祉専門学校
 主 催：東北運輸局

体に重りやサポーター、ゴーグル等を装着しての歩行、車椅子体験や、アイマスクを装着し介助をうけながら点字ブロック上の歩行、エレベーターへの乗り降りを実施しました。

【主な感想】

- ・『高齢者の体の動かしにくさを体験し少しでもサポートしたいと思った』
- ・『普段の授業では経験できないことを学ぶことができ、あまり考えることの無かったことにまで目を向けることができ良い経験になった』



視覚障害者疑似体験

【開催概要】

実施日：令和5年9月
 場 所：秋田駅前「アゴラ広場」ブース出展
 主 催：公益社団法人秋田県バス協会

「秋田バスまつり」会場でバリアフリー教室のブースを設け、アイマスク・白杖を使って、点字ブロック上の歩行や、バスへの乗降体験、介助体験を実施しました。

【主な感想】

- ・『白杖を使用しての歩行は怖く、介助者の声かけが大切だと気付いた』
- ・『点字ブロックをたよりに歩くことが大変だと知った。点字ブロックの大切さが良く分かった』



バリアフリー教室の開催状況

車椅子乗降体験 等

【開催概要】

実施日：令和5年9月

場 所：楽天生命パーク宮城

参加者：仙台市立原町小学校4年生

主 催：東北運輸局、東北地方整備局

協 力：株式会社楽天野球団、仙台市社会福祉協議会、仙台バリアフリーツアーセンター

球場車椅子席までの移動など車椅子体験や、車椅子の方からの日常生活に関わる講話、パラスポーツであるボッチャ体験を実施しました。

【主な感想】

- ・『車椅子での移動が大変なことが分かった』
- ・『講話を聞いて、車椅子の方の困りごとを初めて知った』
- ・『全て貴重な体験となった』



職員研修（聴覚障害）

【開催概要】

実施日：令和6年2月

場 所：東北運輸局2階専用会議室（オンライン併用）

参加者：東北運輸局職員

主 催：東北運輸局

協 力：仙台市社会福祉協議会

仙台市社会福祉協議会で実施している「仙台市障害理解サポーター養成研修」として、東北運輸局職員が参加し、「聴覚障害」をテーマに講義、グループワーク、手話体験を実施。講義では、障害とは何か、社会にあるバリアとは何か、障害を持つ方への配慮等について理解を深め、実際に手話を使って日常で使う挨拶等コミュニケーションの取り方を学びました。

【参加職員からの感想】

- ・障害にも様々な種類があり、周囲や社会が工夫していくことで、皆が生活しやすい世の中に近づいていくのではないかと。
- ・これまでに聴覚障害のある方と関わる機会があまり無かったため、当事者の方が日常生活の中でどのようなことで困っているのか、また当事者の方の見え方等について知ることができ非常に勉強になった。
- ・障害の社会モデルや障害者差別解消法について、改めて勉強できる機会となり貴重な研修だった。
- ・仕事で窓口対応をしているとき、障害を持っている方が来られるときもあるため、今日学んだことを思い出して対応したい。